

## 第5章 意見と理由の記述パターン

---

### (1) 意見と理由の記述パターン

意見と理由の記述パターンは、自分の意見や考えを説明する場合に利用します。まず冒頭の主題文に、自分の意見を記述します。支持文にはその理由を記述します。理由が複数あるときは、列挙の記述パターンを用います。最後に、まとめとして、自分の意見をもう一度述べる場合もあります。

---

私は、～～に賛成（反対）である。その理由として、～～～が挙げられる。～～～  
～～～～～～～～。

---

---

私は、～～～～～が良いと思います。その理由として、次の\*つが挙げられます。  
1つ目は～～～～～。2つ目は～～～～～。

---

(2) 記述例：デスクトップ型パソコンとノート型パソコンのどちらが初心者に向いているか、意見を述べる

■悪い例

①デスクトップ型パソコンは、ノート型パソコンよりも大きく場所を取りますが、その分、画面もキーボードも大きく、初心者にとって使いやすいです。②また、同じ性能ならば、デスクトップ型パソコンはノート型パソコンよりもはるかに安い価格で購入することができます。

※例文中の①②などの丸付き数字は、説明をしやすくするために振っています。

<問題点>

- ・書き手の意見がわかりにくい。デスクトップ型パソコンを勧めているように読み取れるが、明確には述べていない。

■修正例

①初心者がパソコンを買うのなら、ノート型パソコンよりもデスクトップ型パソコンのほうがよいと思います。②その理由として、次の2つが挙げられます。

③1つは、画面とキーボードの大きさです。④デスクトップ型パソコンは、ノート型パソコンよりも大きく場所を取りますが、その分、画面もキーボードも大きく、初心者にとって使いやすいです。

⑤もう1つは価格です。⑥同じ性能ならば、デスクトップ型パソコンはノート型パソコンよりもはるかに安い価格で購入することができます。

⑦以上の理由により、初心者にはデスクトップ型パソコンをおすすめします。

<この文章の構成>

- 1段落目 (①～②) ..... 主題文＝書き手の意見「ノート型パソコンよりもデスクトップ型パソコンのほうがよい」
- 2段落目 (③～④) ..... 支持文＝1つ目の理由
- 3段落目 (⑤～⑥) ..... 支持文＝2つ目の理由
- 4段落目 (⑦) ..... まとめ＝書き手の意見を繰り返す

<ポイント>

- ・書き手の意見が冒頭に記述しており、書き手の立場が明確である。
- ・意見を立証する理由を支持文に記述している。

## (3) 記述例：将来、どのような職業に就きたいか、意見と理由を述べる

## ■悪い例

①将来、私は旅行代理店に勤務したいと考えています。②それは、私自身、旅行が好きで、日本全国に出かけ、さまざまな情景を見たからです。

## &lt;問題点&gt;

- ・理由に説得力がない。旅行代理店を希望する人が旅行を好きなのは当然である。
- ・「日本全国に出かけ、さまざまな情景を見たから、旅行代理店に勤務したい」というのは、論理展開に飛躍がある。
- ・日本全国でさまざまな情景を見て、どう思ったのか？ それが旅行代理店に勤務したいという気持ちと、どうつながっていくのかを、具体的に書くべきである。

## ■修正例

①将来、私は旅行代理店に勤務したいと考えています。②それは、旅行代理店の仕事が人々に感動を与えられるからです。

③私自身、旅行が好きで、日本全国に出かけています。④旅行先では、そこでしか見ることのできない美しい風景を見たり、その土地ならではのおいしいものを味わったりできます。⑤そのときの感動は、テレビや雑誌では決して味わえないものです。

⑥私は、旅行代理店に勤務し、この感動を一人でも多くのお客様に提供できるようになりたいと思います。

## &lt;この文章の構成&gt;

- 1 段落目 (①～②) ..... 主題文＝①書き手の意見「旅行代理店に勤務したい」  
支持文＝②理由「人々に感動を与えられる」
- 2 段落目 (③～⑤) ..... 理由をさらに詳しく説明
- 3 段落目 (⑥) ..... まとめ＝書き手の意見を繰り返す

## &lt;ポイント&gt;

- ・理由が具体的である。
- ・理由が、自分の体験に基づいている。

## ☆上達のコツ☆

- 意見を述べる場合は、最初に意見を述べ、次のその理由を記述する。
- 説得力のある理由を書くには、以下の点をチェックしよう。
  - ・理由は具体的か？
  - ・思い込みや、こじつけの理由を述べていないか？
  - ・反論にも十分耐えうる理由か？